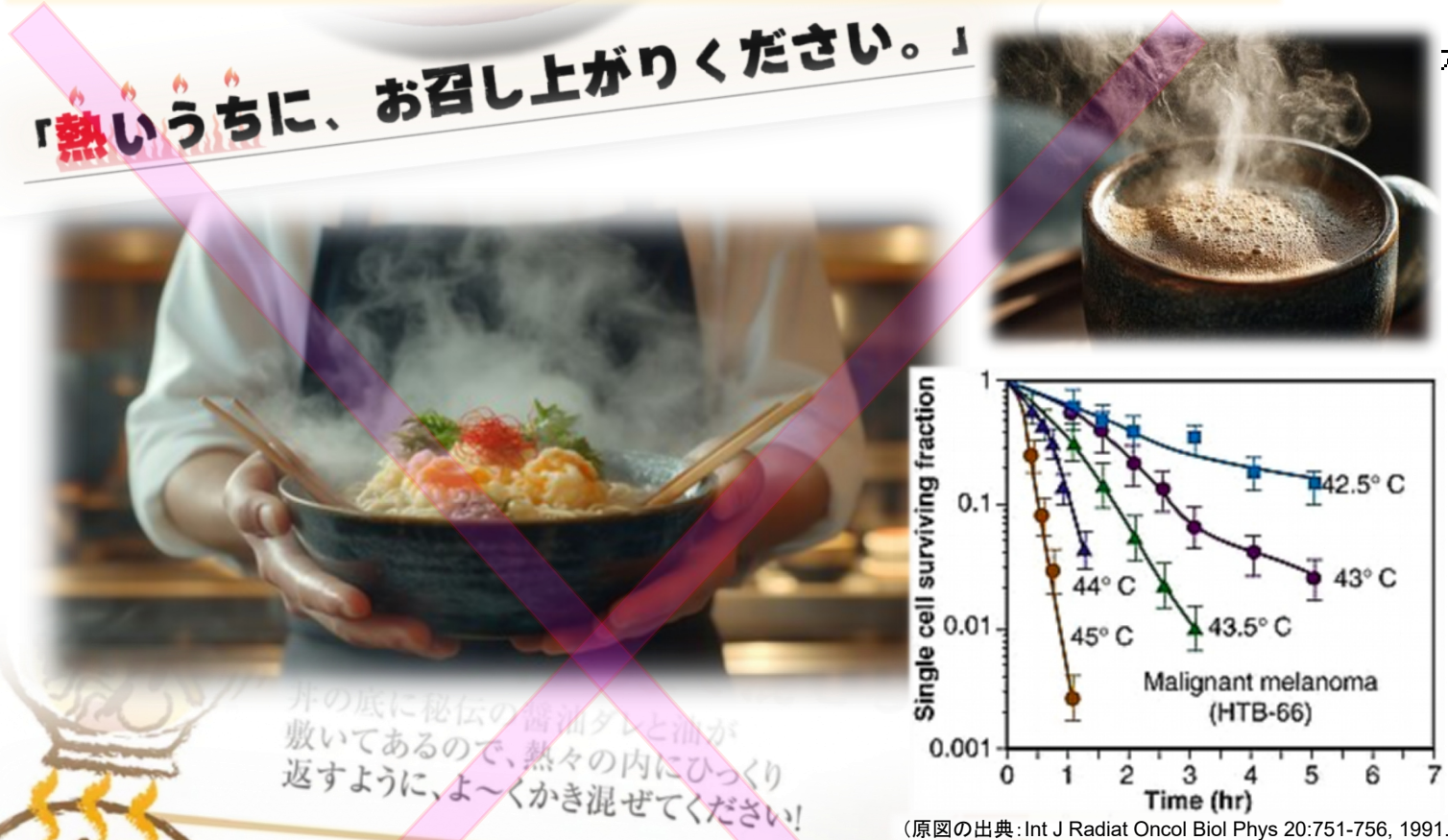
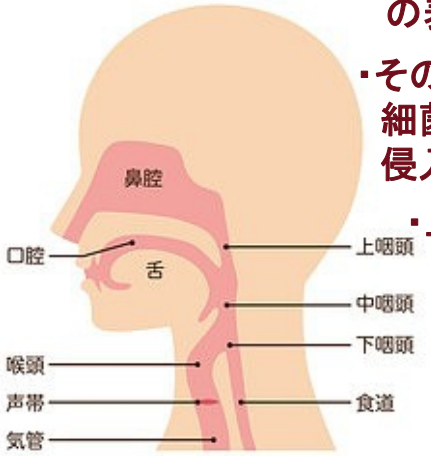
ヒトの細胞の安全温度は42℃までである

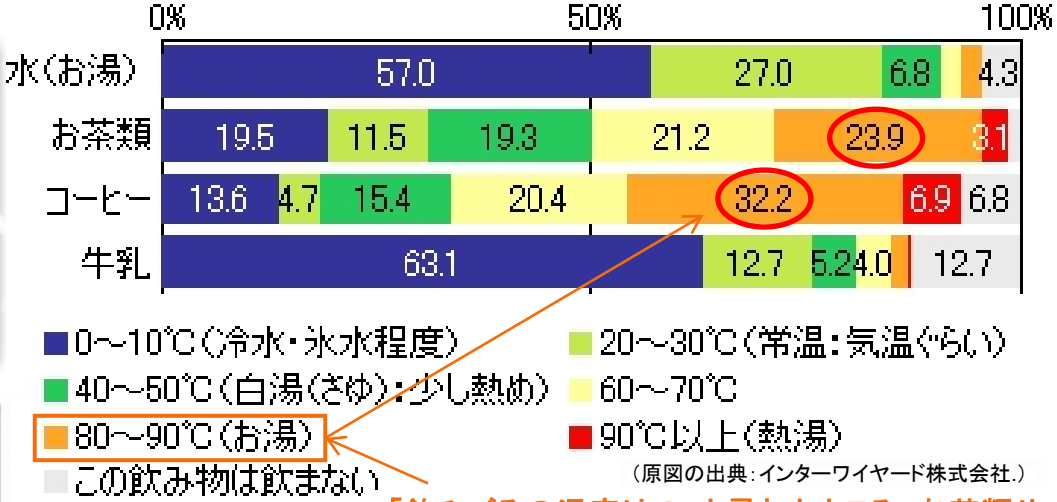


（原図の出典：Int J Radiat Oncol Biol Phys 20:751-756, 1991.）



＜作成：stnv基礎医学研究室＞

消化管は熱いものを通すようには出来ていない



（原図の出典：インターワイヤード株式会社.）

「飲みごろの温度は？」と尋ねたところ、お茶類やコーヒーは80～90℃という答えが最も多かった。

←42℃を超えると、細胞内で熱に弱いタンパク質から変性が始まる。

←45℃では、殆どのタンパク質が変性するため、1時間後に生き残っている細胞はゼロに近い。

・60℃に曝されると、殆どの細胞は数分程度で死滅する。

・80℃に曝されると、全ての細胞は瞬時に死滅する。

・80～90℃のコーヒーを飲むと、舌や、口腔内・咽頭・食道の表面を覆っている粘膜の上皮細胞は瞬時に死滅する。

・その結果、粘膜による防御機能が損なわれ、ウイルスや細菌に感染しやすくなる。また、化学物質やアレルゲンが侵入しやすくなる。

・上皮細胞の死滅と補充が頻繁かつ長期間にわたって繰り返されるほど、舌がん、咽頭がん、食道がんのリスクが高まる。また、1回に飲食する物の温度が高いほど発がんリスクが高まる。

・ヒトは、猫舌の猫を見習うべきである。